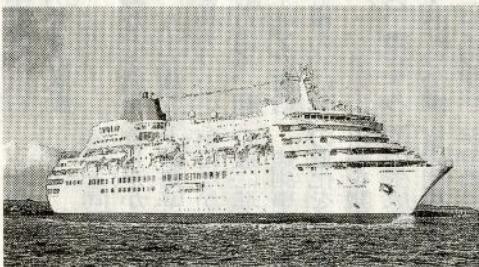


今春の姫路港開港五十周年を記念し、姫路城と鹿児島県・屋久島を結ぶ大型クルーズ客船「ふじ丸」(三三、一三五)は、**写真**の「世界遺産ツアーアー」が七月二十六～二十八日の二泊三日で催される。工業港のイメージが強い姫路港だが、観光港化を目指し、夏には練習帆船「海王丸」も誘致

開港50年 世界遺産結ぶ

姫路港～屋久島
大型客船ツアー

7月



する。

飾磨海運(水田裕一郎社長)が企画し、神姫バス旅行事業部が催行。姫路港では二〇〇六年に大型客船の日帰りクルーズがあったが、宿泊型のツアーアーは初めて。

水田社長は「播磨のクルーズファンは神戸港を利用していたが、最寄りの姫路港から気軽に船旅を楽しんでほしい。実績を作り、今後もクルーズ

料金は大人一人が六万八千円(四人一室)から二十九万八千円(スイート二入一室)まで、三日間の食事代込み。船内ではシヨーーやカジノゲームなど多彩なイベントが楽しめる。屋久島では推定樹齢三千年の紀元杉観光など世界遺産を楽しむオプションツアーアー(六千円から)もある。

船を呼び込みたい」と話している。神姫バス 79・289・0111 (直江純)